

令和5年度 第6回へきなん市民環境会議定例会 会議録

と き 令和5年9月7日(木)

午後7時

ところ 碧南市役所談話室2, 3

司会 角谷

○出席者 9名

○欠席者 6名

1 全体協議

(1) 碧南きづなあぐ(碧南きづなあぐ実行員会主催)開催について

※3月10日に明石公園で開催予定。

※体験ブース設置(県から体験型環境PR機器を借用予定。)

・芝生広場でテントを張って行う。

・少雨開催

・開催ジャンルとしては 1)展示・体験の部として参加する。

・3.6×5.4のテントを使用(2ユニット)

※1ユニット=テントの半分

・1ユニット1,000円なので2,000の協力金が掛かる。

・長机4本追加 4,000円 1本無料 合計5本使用

・椅子6脚追加 1,800円 2脚無料 合計8脚使用

・主催するのはどのような団体か?

市民活動センターに登録している人たちが集まって出来た団体。

・「碧南きづなあぐ」はへきなんの絆を繋ぐという意味がある。

・市民の活性化を図る目的があり、こども達が積極的に参加できるイベントを練っている

・市制75周年イベントで行う事業とし、今年度中の3月に試験的に開催

・500W以内なら電源を使用できる。

・へきなん市民環境会議としては、3コーナー設ける

①環境宣言・緑の里親宣言受付。

②温暖化防止活動の啓発

③食品ロス

- ・②で使用する予定の実験機器は愛知県から借用する。
- ・③ではモニターとパソコンを使用して啓発活動をしたいのでパソコンは事務局で準備してもらいたい。モニターについては角谷が準備する。
- ・9月30日が申請期限なので申請してよろしいか？
- ・申請することに対し異議なし。

2 その他

(1) 油ヶ淵水環境モニタリングについて【9/10(日)8:00 鷺塚公民館】

担当：角谷、~~鈴木恵~~、杉浦捨、~~須田~~、高田

- ・鈴木恵、須田は欠席となる。
- ・3人で行うこととする。
- ・10月からは9時集合になります。

(2) 環境きっかけ講座 ビオトープ観察会&ミニビオトープ作ろうについて

8月10日(木) ①部 10:00～ 13組39人参加

②部 13:00～ 15組30人参加 2組4人欠席

応募 95組235人(当選30組73人)

- ・応募235人に対し当選73人は、外れた人が多いことで問題があるのでは
- ・対象を絞るなどして対策したほうがよいのでは？

※来年度からは夏休みの宿題登録推薦手続き(碧南市教育委員会)を考慮

※冷え冷え実験講座も同様としたい

- ・教育委員会の推薦を受けるには基準がある
 - ①目的が明確であること
 - ②市民文化等の向上に資するものであること。
 - ③営利又は商業宣伝活動のみを目的とする事業でないこと。
 - ④政治活動、宗教活動に関する内容でないこと。
 - ⑤公共の秩序を乱し、又は乱すおそれのないこと。
 - ⑥事業の開催にあたって代表者、役員等の責任体制が明確でかつ事業の執行能力が十分あるか

- ・判断するため、次の事項が明らかにできること
 - ①会則、代表者が決定していること。
 - ②事業内容に伴う経済的な裏付けがあること。
 - ③事業計画書を添付できること。
 - ④主催者が参加者から費用を徴収する場合は、徴収目的が適正かつ明確であること。
 - ⑤入場料を徴収する場合は、類似事業の入場料との差が大きくないこと。
 - ⑥事業への参加の機会が一般市民に開放されていること。
 - ⑦その他後援等を行うことが適当と認められること。
- ・事業開始日の60日前までに申請書・開催要項を教育員会に提出すること
- ・事業が終了したら、速やかに事業実績報告を提出すること

(3) 干潟の生きもの観察会 8/29（火）開催について

- ・西三河南部生態系ネットワーク主催で行われた。
- ・7組30人の応募。定員30名
- ・4組欠席で、3組20人の参加で行われた。
- ・講師は前水族館館長の増田氏
- ・碧南からの参加者は0人。現地集合ということで西尾市民が多かったが、岡崎市、刈谷市からの参加申者もいた。
- ・内容としては、干潟で潮干狩りをしながら、周辺でみられるカニや魚なども捕獲し、干潟内で生きものを触りながら生態を学ぶ。また、帰り際には干潟内の海洋ゴミを拾い集め、参加者全員でゴミ拾い活動をして、海の環境向上及び海洋ゴミ問題を取り上げ、環境啓発を行った。講話(生きもの解説)は一色漁協組合の作業場を借用し、食用に適した貝類、干潟に棲む魚類、水質浄化などについて学んだ。

(4) その他

- ・特になし

次回開催 令和5年10月5日（木）

碧南市役所談話室2、3